

2024
10/31 木

↓
11/6 水

開館時間

午前9時～午後4時30分
(入館は午後4時まで)



記念館 秋の一般公開

入場
無料
予約不要!

明治時代の標本や貴重な裁縫教材など
全4学部の特展を行います。



文学部 岡澤禎華氏
ご寄贈作品



理学部 剥製標本
骨格標本



生活環境
学部 奈良女子大学の
裁縫教材研究



工学部 PBL(創造的課題解
決型演習)の成果

本学公認サークル「piano-forte」
によるミニコンサートも開催!

Piano concert
10/31(木) 15:00～
11/1(金) 11:00～, 13:00～
11/6(水) 11:00～, 13:00～

※日程変更の可能性があります。
詳細は下記記念館HPをご確認ください。

交通

近鉄奈良駅①出口から徒歩5分
JR奈良駅から市内循環バス
近鉄奈良駅前下車徒歩5分
※駐車場はございません。
ご来場は公共交通機関を
ご利用ください。



記念館ホームページ ▶▶▶

奈良女子大学 記念館 🔍



連絡先

奈良女子大学 総務課 広報・基金係
〒630-8506 奈良市北魚屋東町
TEL. 0742-20-3220 FAX. 0742-20-3205

奈良女子大学 記念館 について



奈良女子大学の前身である奈良女子高等師範学校は1908(明治41)年3月に設置され、翌年5月から授業を開始しました。校舎の工事は1908(明治41)年2月からはじまり、翌年10月には主要な建物が完成しました。現在、奈良女子大学記念館としている建物は、奈良女子高等師範学校本館としてこのとき建設されたものです。設計は京都帝国大学建築部長で奈良出張所心得の山本治兵衛が行いました。

木造二階建てで、外観の大きな特徴は、北欧によく見られる木部を外に表す壁構造のハーフティンバー形式をとっており、屋根には頂塔およびドーマー窓が設置されていることにあります。1階は中央に廊下が配され、これを挟む形で7室が設置されています。建物両端にある階段で2階に上ると、フロア全体が大きな講堂となっています。講堂内には柱は用いられず、中央部に二重に織り上げた天井には明かり取りの窓が配され、広々とした空間が広がります。

1994(平成6)年2月から6月にかけて改修工事が行われ、同年12月27日に正門および守衛室と併せて重要文化財に指定されました。その後も空調設備工事・外壁改修など、その時々適切な修理を行い、2014(平成26)年12月25日から2015(平成27)年12月にかけては、これまでにない長い時間をかけて大規模な耐震補強工事を実施しました。この工事に際しては、文化庁・奈良県の指導を受けて、歴史的建造物の文化的価値を損なうことのないよう、細心の注意を払い設計、施工がなされました。

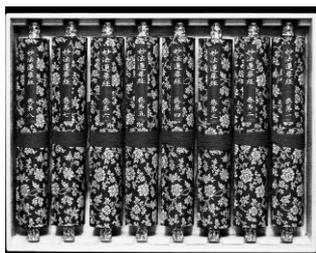
日本館は建設以来、改変された箇所はほとんどありません。現在も2階講堂内部には奈良女子高等師範学校開校当時から使用されていた長椅子がそのままに並び、開校時に購入した最も古い国産ピアノのひとつであるとされる「百年ピアノ」が置かれ、往事を偲ぶことができます。

展示 内容

文学部・理学部・生活環境学部・工学部 各学部からの見本教材や標本の一部を展示します。

■文学部

奈良女子大学文学部は、前身の奈良女子高等師範学校時代よりさまざまな資料を教育標本として収集してきました。令和六年、同じように学生の教育・研究に資する貴重な資料として、岡澤禎華氏の写経作品群48点を岡澤家よりご寄贈賜りました。今回はそのことを記念してご寄贈作品6点を展示します。



■理学部

奈良女子大学では、開学当初からの剥製標本、骨格標本、液浸標本など、多数保存されています。これらは普段大切に管理されるとともに、授業や研究活動において、活用されています。記念館の一般公開では、これらの標本の一部を展示します。



■生活環境学部

奈良女子大学には、前身である奈良女子高等師範学校以来の長い被服教育の歴史があり、多くの教材や作品が残されています。昭和初期頃(一部戦後)までを対象に、実物と同じデザインと縫い方で寸法のみ縮めた裁縫雛型、パーツ縫いや仕末法を伝授するための見本教材、素材研究や教材入手のための布見本や糸見本などを展示しています。



■工学部

奈良女子大学工学部は、女子大学初の工学部として令和4年に誕生しました。現代社会が必要としている創造的エンジニアの育成を目標としています。工学部では、基幹科目である「PBL(創造的課題解決型演習)」の授業の作品を展示します。1, 2回生が取り組んだ成果を是非、ご覧下さい。

